

ちがさきし ねん めざ  
茅ヶ崎市は「2050年ゼロカーボンシティ」を目指しています

さとやま たい  
里山はっけん隊！ 「まとめ ノート」



れいわ ねん がつ か どようび じっし  
令和4年12月3日(土)実施

だい かい さとやま たい  
第1回 里山はっけん隊！ ふりかえり

さんか たいいん みなさま じゅんふどう けいしょうりやく  
参加いただいた隊員の皆様（順不同・敬称略）:

みな、みなママ、きい、パパ、ゆずか、みやび、ぱぴー、こうちゃん、あきちゃん、ヒロキ、けんたろう、けんママ、うまいぼう、ヨタロウ、かい、コウジ、けんTー、ももてつ、ラルさん、なお、じゅん、リエ

# 目次 – CONTENTS –

まとめ  
その1

## 生きものトーク…………… 1

はっけん隊！当日にみんなが投稿した写真を見ながら、柳谷の自然に学ぶ会の皆さんと、市役所環境政策課のカヤとみかんが、みなさんの「はっけん！」をトーク形式でふりかえります。

まとめ  
その2

## 生きものコレクション…………… 9

隊員のみんなの投稿を一覧にまとめました。生きもの名前は、柳谷の自然に学ぶ会の皆さんに確認していただき、一部、変更させていただきました。人物が映り込んでいる投稿等は、削除しています。種名が判別できなかったものは、「種名？」と表示しています。

まとめ  
その3

## 生きものマップ…………… 17

畑の村湿地とその周辺で見つけた主な生きものを、地図にまとめました。草地、湿地、斜面など、エリアごとにどんな生きものがいたか見てみましょう。

生きものトーク、生きものコレクション、生きものマップの作成に  
御協力いただいた 柳谷の自然に学ぶ会の皆様(敬称略)

野田晴美(のだっち)、白田仁志(のっぽさん)、飯尾桃子(いーよ)  
小浜ミサ子(とちゅさん)、祖一光男(アラン・ドロン)、渡邊祥子(わたなべさん)  
倉川典夫、池田尚子



## 植物

**カ** 植物の写真は 100 枚近く集まりました。マユミの写真がいっぱいでしたね。



**マユミ**

*Euonymus sieboldianus*  
種子植物 > ニシキギ目 > ニシキギ科

Powered by いきものコレクションアプリ「イオーム」

**学** みんなが気になるマユミは、枝がよくしなるので、これで弓を作ったことが名前の由来です。実は直径 1cm 程度、角ばっていて色は淡い紅色、熟すと 4 つに割れます。種の周りを覆う橙赤色（とうせきしょく）の部分は、木が用意した栄養たっぷりのゼリー。鳥が好んで食べますが、消化されずフンとして落ち、あちこちに運ばれます。

秋から冬には赤い実が目につくと思います。赤い実が多いのは、鳥に食べてもらって、種を運んでもらいたいから。人間に似て赤に敏感な鳥に、「ほらここよ」とアピールしています。鳥を誘う実の色は、赤が一番多くて、次は黒色。一方、虫や哺乳類の多くは赤

い色があまりよく見えていないらしいです。



**ケヤキ**

*Zelkova serrata*  
種子植物 > バラ目 > ニレ科

Powered by いきものコレクションアプリ「イオーム」

**み** ケヤキは里の家の後ろ側の木ですね。

**学** ケヤキの葉は鋸歯（きよし：周りのギザギザ）が、カーブして先がとがります。実と葉は小枝ごと風に舞って落ちます。枝はジグザグに伸び、葉を一枚ずつ広げます。



**ケヤキ**

*Zelkova serrata*  
種子植物 > バラ目 > ニレ科

Powered by いきものコレクションアプリ「イオーム」

**カ** 湿地の向かい側の田んぼ沿いのこの茂みはエノキだったんですね。エノキってもっと高木のイメージでした。



**エノキ**

*Celtis sinensis*  
種子植物 > バラ目 > アサ科

Powered by いきものコレクションアプリ「イオーム」

**学** 鳥が実を食べて種を運ぶので、若木があちこちに育っているんですよ。



**コナラ**

*Quercus serrata*  
種子植物 > ブナ目 > ブナ科

Powered by いきものコレクションアプリ「イオーム」

**カ** コナラはどんぐりがなる木ですね。

**学** コナラはクヌギと並んで雑木林を代表する樹木。株立ちといって、木の根元がいくつもの株に分かれていたら、それは薪として活用されていた証拠です。薪用に木を伐採すると、その根株から沢山の芽が伸びます（萌芽更新）。それが成長したら、また薪として伐採し活用することで雑木林は維持され、繰り返し利



用することができたんですよ。

**み** 里山の人の知恵ですね。

**カ** クヌギの葉の写真もありますね。



### クヌギ

*Quercus acutissima*

種子植物 > ブナ目 > ブナ科

Powered by いきものコレクションアプリ「バイオーム」

**学** クヌギの葉の鋸歯（葉っぱの周りのギザギザ）は糸状に長く伸びます。

**み** ほんとうだ。よく見るとピンととんがっています。

**学** クヌギのどんぐりは2cmくらいの丸い形で2年かけて成熟します。



### スギ

*Cryptomeria japonica*

種子植物 > マツ目 > ヒノキ科

Powered by いきものコレクションアプリ「バイオーム」

**カ** スギの葉っぱですね。

**学** スギは古くなると枝ごと落ちます。スギの葉は油分を含んでいて燃えやすいので、昔の里山では天然の着火剤として重宝されていたんですよ。

**み** 昔はかまどでご飯を炊いてたんですよ。大変だ！

**カ** ネズミモチがありますね。



### ネズミモチ

*Ligustrum japonicum*

種子植物 > シソ目 > モクセイ科

Powered by いきものコレクションアプリ「バイオーム」

見つけた人は、オリーブだと思ったみたい…

**学** ネズミモチの名前の由来は、葉がモチノキに似て、黒っぽくて細長い実がネズミのフンに似ているからと言われています。

**み** ネズミのふん、見たことないです。

**学** ほんとにそっくりなんです。ヒヨドリなどの鳥が実を食べて種をばらまきます。



### ヤブツバキ

*Camellia japonica*

種子植物 > ツツジ目 > ツバキ科

Powered by いきものコレクションアプリ「バイオーム」

**カ** ヤブツバキはまだつぼみでした。

**学** 葉が艶々と光っていますね。ヤブツバキは花が少ない冬に花を咲かせます。鳥に目立つ赤で、蜜を飲みやすいように横向きについています。種からは椿油が取れます。

**カ** チャノキは、お茶ですか。



### チャノキ

*Camellia sinensis*

種子植物 > ツツジ目 > ツバキ科

Powered by いきものコレクションアプリ「バイオーム」

**学** そうです。お茶の木。花は10~11月に白い花が下向きに咲きます。



### ムクノキ

*Aphananthe aspera*

種子植物 > バラ目 > アサ科

Powered by いきものコレクションアプリ「バイオーム」

**カ** ムクノキは畑の村湿地の広場に入ってすぐ右側の木ですね。

**学** 秋に黒く熟す実がおいしくて、ムクドリが好んで食べるのが名前の由来です。



### ウツギ

*Deutzia crenata*

種子植物 > ミズキ目 > アジサイ科

Powered by いきものコレクションアプリ「バイオーム」

**カ** これは何かしら？



**学** ヒメウツギかマルバウツギですね。ウツギの実は花柱（かちゅう：めしべ）が残ります。熟すと口が上向きに開き、風で揺れて、塩コショウをふるみたいに、1mm 以下の小さな種が風に乗って運ばれます。ウツギの枝は中空になっています。

**み** 中が空っぽだから「空木（うつぎ）」なんですね。



**オギ**  
*Miscanthus sacchariflorus*  
種子植物 > イネ目 > イネ科

**カ** オギを投稿したくれた人もたくさんいましたね。ススキと同じに見えるけど、どこが違うんですか。

**学** 穂に芒（のぎ）といって、とがった針状のものがあるのがススキ、穂の毛が長くて白っぽいのがおぎです。ススキは乾燥した場所、オギは湿地に生えます。ススキやおぎは丈夫で水をはじくので、かやぶき屋根の材料にも使われていたんですよ。

**カ** 身近なものが家の材料になっていたんですね。

**み** 草地では黄色い花がいろいろ咲いていました。

**学** みんながよく知っているセイヨウタンポポはヨーロッパ原産で、明治時代から見ら

れるようになりました。在来種のカントウタンポポはこの時期咲いていないので、それも見分けるポイントです。カンサイタンポポとして投稿してくれた人もいましたが、カンサイタンポポは関西で見られる在来のタンポポです。



**セイヨウタンポポ**  
*Taraxacum officinale*  
種子植物 > キク目 > キク科



**アイノコセンダングサ**  
*Bidens pilosa var. intermedia*  
種子植物 > キク目 > キク科

**み** アイノコセンダングサは「ひつつきむし」ですよ。

**学** コセンダングサとコシロノセンダングサの雑種とされています。最近増えている植物です。

**み** オニノゲシとノゲシも似ていますね。

**学** オニノゲシは外来種で、葉を触るとトゲトゲして痛いんです。ノゲシは在来種で食べると苦いらしいです。

**み** へー、知りませんでした。



**オニノゲシ**  
*Sonchus asper*  
種子植物 > キク目 > キク科



**ノゲシ**  
*Sonchus oleraceus*  
種子植物 > キク目 > キク科

**み** カラスウリの実がきれいでしたね。



**カラスウリ**  
*Trichosanthes cucumeroides*  
種子植物 > ウリ目 > ウリ科

**学** 立派な実だからオオカラスウリと思った人もいますが、オオカラスウリは関東地方にはないとされているので、カラスウリだと思います。

**み** 湿地の際にジュズダマがたくさんなっていました。



**学** ジュズダマは珠のなかに雌花が入っているんですよ。雄花のかたちもおもしろいので、調べてみてください。



**ジュズダマ**  
*Coix lacryma-jobi*  
種子植物 > イネ目 > イネ科

**み** ふわふわのガガイモ、ミノムシみたいな昆虫かと思ってしまいました。



**ガガイモ**  
*Metaplexis japonica*  
種子植物 > リンドウ目 > キョウチクトウ科

**学** ガガイモはつる性の植物で、周りの植物にからみついて成長します。ふわふわの綿毛はタンポポと同じで、種を遠くに飛ばす役割があります。古事記に出てくるスクナビコナという薬の神様は、このガガイモのさやを船にして大陸からやってきたそうですよ。

**み** そんな古くから知られているなんてびっくりですね。

**学** イヌタデはかつてはアカマンマと言われ、ままごとではご飯の代わりになって子どもたちと遊びました。

もたちと遊びました。



**イヌタデ**  
*Persicaria longiseta*  
種子植物 > ナデシコ目 > タデ科

**み** 地味だけどきれい。お父さん隊員も注目していました。



**ホトケノザ**  
*Lamium amplexicaule*  
種子植物 > シソ目 > シソ科

**学** ホトケノザも咲いていましたね。春の七草のホトケノザはコオニタビラコのことです。写真のホトケノザは食べられません。



**チカラシバ**  
*Pennisetum alopecuroides*  
種子植物 > イネ目 > イネ科

**学** チカラシバは、力がない

ととても抜けないくらい根が張っているんですよ。



**オオイヌノフグリ**  
*Veronica persica*  
種子植物 > シソ目 > オオバコ科

**学** オオイヌノフグリは外来種。一日で花が咲いて、すぐに種ができます。



**オオバコ**  
*Plantago asiatica*  
種子植物 > シソ目 > オオバコ科

**学** オオバコの種は、ぬれると粘膜に包まれた種になり、乾いた場所でも発芽します。



**シロツメクサ**  
*Trifolium repens*  
種子植物 > マメ目 > マメ科

**学** シロツメクサは別名クロ



ーバー。詰め草として外国から日本に来ました。



**ヨモギ**  
*Artemisia indica var. maximowiczii*  
種子植物 > キク目 > キク科

**学** ヨモギは餅草として使います。香りのいい草です。



**カントウヨメナ**  
*Aster yomena var. dentatus*  
種子植物 > キク目 > キク科

**学** 薄ピンクがかわいい。ヒメジョオンに少し似てますが、これはカントウヨメナです。



**ギシギシ**  
*Rumex japonicus*  
種子植物 > ナデシコ目 > タデ科

**学** ギシギシとスイバの見分けは難しいですね。葉っぱの

根本が丸いのがギシギシ、尖っているのがスイバです。ベニシジミというチョウの食草です。



**キツネノマゴ**  
*Justicia procumbens var. procumbens*  
種子植物 > シソ目 > キツネノマゴ科

**学** キツネノマゴは花を狐のしっぽに見立てた名前です。  
**み** ネーミングがおもしろいですね。

昆虫・クモ

**カ** 昆虫・クモもたくさんはっけんできました。  
**み** 田んぼでは大きなカマキリがいて、びっくり！



**オオカマキリ**  
*Tenodera sinensis*  
昆虫・クモ > カマキリ目 > カマキリ科

**み** イナゴとかバッタとか見分けが難しいですね。  
**学** ポイントとなるのが模様の違いですね。胸に黒い帯があるのがコバネイナゴ。

背中に線があるのがツチイナゴです。



**コバネイナゴ**  
*Oxya yezoensis*  
昆虫・クモ > バッタ目 > バッタ科



**ツチイナゴ**  
*Patanga japonica*  
昆虫・クモ > バッタ目 > バッタ科

コバネイナゴもツチイナゴも触角が短いのも特徴です。バッタもヒメヒシバッタとハラビシバッタはよく似ていますが、後ろ脚の膝と翅（はね）の位置関係で違いがわかります。



**ヒメヒシバッタ**  
*Tetrix minor*  
昆虫・クモ > バッタ目 > ヒシバッタ科





**ハラヒシバツタ**  
*Tetrix japonica*  
昆虫・クモ>バツタ目>ヒシバツタ科

**学** イナゴは稲の葉を食べるので「害虫」といわれますが、カマキリやクモ、カエルはイナゴを食べてくれる生きものです。

**み** 田んぼではいろんな生きものが関わりあって生きているんですね。

**カ** テントウムシは成虫と幼虫が見られました。



**ナナホシテントウ**  
*Coccinella septempunctata*  
昆虫・クモ>コウチュウ目>テントウムシ科



**ナナホシテントウ**  
*Coccinella septempunctata*  
昆虫・クモ>コウチュウ目>テントウムシ科

**み** カマキリの卵も見つかりましたね。

**学** カマキリの卵は卵鞘（らんしょう）と言います。黒っぽくて、つやっとしているのがハラビロカマキリの卵、白っぽいのがオオカマキリの卵です。



**ハラビロカマキリ**  
*Hierodula patellifera*  
昆虫・クモ>カマキリ目>カマキリ科



**オオカマキリ**  
*Tenodera sinensis*  
昆虫・クモ>カマキリ目>カマキリ科

**み** トンボもいました。



**アキアカネ**  
*Sympetrum frequens*  
昆虫・クモ>トンボ目>トンボ科

**カ** クモの仲間も見つかっていますね。



**種名?**  
学名?  
分類?



**種名?**  
学名?  
分類?



**種名?**  
学名?  
分類?

**学** 小さな個体まで見つけて、すごいですね。種類までは特定できませんでしたが、いろいろな生きものがいることがわかったと思います。

両生類



**カ** カエル写真は、どれもかわいいですね。



**ニホンアマガエル**

*Dryophytes japonicus*  
両生類 > 無尾目 > アマガエル科

Powered by いきものコレクションアプリ「イイホーム」



**ニホンアマガエル**

*Dryophytes japonicus*  
両生類 > 無尾目 > アマガエル科

Powered by いきものコレクションアプリ「イイホーム」



**ニホンアマガエル**

*Dryophytes japonicus*  
両生類 > 無尾目 > アマガエル科

Powered by いきものコレクションアプリ「イイホーム」

**学** 今回のはっけん！したのは、どれもニホンアマガエルです。まだら模様で、ジュウジメドクアマガエルと思った人もいましたが、ジュウジメドクアマガエルは南米産のカエルです。

**み** 模様が違うのに同じカエルなんですか？

**学** ニホンアマガエルは、鼻・目・耳にかけて黒褐色の太い線があるのが特徴です。体色は緑色だけでなく、周りに合わせて変化させるので、模様があるものも見られるんですよ。

**み** 体の色が変えられるなんてすごい！

**学** 足の指に吸盤があり、草や枝、壁などに張り付いているのを見かけます。冬は冬眠します。

**み** それじゃあ、冬眠前に出会えてラッキーでしたね！

### 水生生物

**カ** 水生生物はみんな、網でガサガサすくって楽しそうでしたね。

**み** 小さいアメリカザリガニがいっぱいいました。



**アメリカザリガニ**

*Procambarus clarkii*  
甲殻類 > 十脚目 > アメリカザリガニ科

Powered by いきものコレクションアプリ「イイホーム」

**学** アメリカザリガニがいっぱいいるというのは、あまりよいこととは言えません。

アメリカザリガニは、ウシガエルの餌としてアメリカのニューオーリンズから持ち込まれましたが、いまでは、各地

の田んぼや湿地などで広く見られるようになってきました。死んだ魚から水草の根までなんでも食べてしまい、在来水生生物が減る原因になっているので、湿地作業中に見つけた時は駆除しています。



**ヒメガムシ**

*Sternolophus rufipes*  
昆虫・クモ > コウチュウ目 > ガムシ科

Powered by いきものコレクションアプリ「イイホーム」

**み** これはヒメガムシっていうんですね。オールみたいな足を動かして泳いでいました。  
**学** 体長 9~12mm で、池沼、田んぼ、流れの淀みで見かける水生甲虫です。冬は少ないですが、1 年中見られますよ。11月に行った水生生物調査でも見られました。



**ヤマトクロスジヘビトンボ**

*Parachauliodes japonicus*  
昆虫・クモ > ヘビトンボ目 > ヘビトンボ科

Powered by いきものコレクションアプリ「イイホーム」

**み** このゲジゲジしたのはトンボの幼虫なんですね。

**学** ヤマトクロスジヘビトンボの幼虫です。2020 年 7 月

以来 2 年ぶりに見ました。見  
つかってよかった！

**み** イモムシみたいな不思議  
な生きものもいましたね。体  
をすばやく「つ」の字とその  
反対に曲げながら動いていま  
した。



**ガガンボ科**

Tipulidae  
昆虫・クモ>ハエ目

Powered by いきものコレクションアプリ「バイオーム」

**学** ガガンボの仲間の幼虫で  
すね。トゲトゲしているよう  
に見えるのが後の方で呼吸管  
がついています。反対側が頭  
の方で黒っぽく見えます。

**み** トゲトゲは角じゃないん  
です。



**サワガニ**

Geothelphusa dehaani  
甲殻類>十脚目>サワガニ科

Powered by いきものコレクションアプリ「バイオーム」

**カ** カニもいました。

**学** これはサワガニです。海  
に下らずに一生を川などの  
淡水域で過ごすカニです。ブ  
ルー系、オレンジ、茶系とい  
った体色のものも見られます。

畑の村湿地では、細流側に生  
息しています。



**カワニナ**

Semisulcospira libertina  
軟体動物>吸殻目>カワニナ科

Powered by いきものコレクションアプリ「バイオーム」

**み** この細長い巻貝はカワニ  
ナっていうんですね。

**学** 河川や水路などで見られ、  
ゲンジボタルの幼虫の餌にな  
る巻き貝として知られていま  
す。ヘイケボタルの幼虫は稚  
貝を食べるそうです。柳谷で  
は、池、水路、湿地で見られ  
ます。

## 鳥類

**み** モズのはやにえは、今回  
の大はっけん！でした。



**モズ**

Lanius bucephalus  
鳥類>スズメ目>モズ科

Powered by いきものコレクションアプリ「バイオーム」

**学** はやにえは、捕らえた獲  
物を小枝などに突き刺す行動  
です。今回見つけたのは、モ  
ズが小枝に刺したニホンアマ  
ガエルです。はやにえをする

理由は、冬の食べ物を蓄える  
ためなどと考えられていま  
すが、まだ分かっていません。

**み** トビの写真もありました。



**トビ**

Milvus migrans subsp. lineatus  
鳥類>タカ目>タカ科

Powered by いきものコレクションアプリ「バイオーム」

**学** トビは目が良く、遠くま  
で見えます。空を飛びながら  
地上の食べ物を探します。

**み** 鳥の姿は見かけたけど、  
写真に撮るのが難しく、投  
稿できませんでした。

**カ** 鳴き声はいっぱいしてい  
ましたよね。

**学** モズの鳴き声も聞こえて  
いましたよ。鳴き声で、何の  
鳥が分かると楽しいですね。

**み** これから覚えたいと思  
います！



























まとめ  
その2


























# 生きものコレクション

たくさん  
見つけたぞよ！









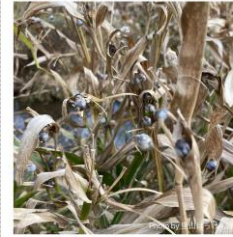


















<p>植物</p>	 <p><b>マユミ</b> <i>Euonymus sieboldianus</i> 種子植物 &gt; ニシキギ目 &gt; ニシキギ科</p>	 <p><b>マユミ</b> <i>Euonymus sieboldianus</i> 種子植物 &gt; ニシキギ目 &gt; ニシキギ科</p>	 <p><b>マユミ</b> <i>Euonymus sieboldianus</i> 種子植物 &gt; ニシキギ目 &gt; ニシキギ科</p>	 <p><b>マユミ</b> <i>Euonymus sieboldianus</i> 種子植物 &gt; ニシキギ目 &gt; ニシキギ科</p>
 <p><b>マユミ</b> <i>Euonymus sieboldianus</i> 種子植物 &gt; ニシキギ目 &gt; ニシキギ科</p>	 <p><b>マユミ</b> <i>Euonymus sieboldianus</i> 種子植物 &gt; ニシキギ目 &gt; ニシキギ科</p>	 <p><b>マユミ</b> <i>Euonymus sieboldianus</i> 種子植物 &gt; ニシキギ目 &gt; ニシキギ科</p>	 <p><b>マユミ</b> <i>Euonymus sieboldianus</i> 種子植物 &gt; ニシキギ目 &gt; ニシキギ科</p>	 <p><b>マユミ</b> <i>Euonymus sieboldianus</i> 種子植物 &gt; ニシキギ目 &gt; ニシキギ科</p>
 <p><b>マユミ</b> <i>Euonymus sieboldianus</i> 種子植物 &gt; ニシキギ目 &gt; ニシキギ科</p>	 <p><b>マユミ</b> <i>Euonymus sieboldianus</i> 種子植物 &gt; ニシキギ目 &gt; ニシキギ科</p>	 <p><b>マユミ</b> <i>Euonymus sieboldianus</i> 種子植物 &gt; ニシキギ目 &gt; ニシキギ科</p>	 <p><b>マユミ</b> <i>Euonymus sieboldianus</i> 種子植物 &gt; ニシキギ目 &gt; ニシキギ科</p>	 <p><b>マユミ</b> <i>Euonymus sieboldianus</i> 種子植物 &gt; ニシキギ目 &gt; ニシキギ科</p>
 <p><b>マユミ</b> <i>Euonymus sieboldianus</i> 種子植物 &gt; ニシキギ目 &gt; ニシキギ科</p>	 <p><b>ケヤキ</b> <i>Zelkova serrata</i> 種子植物 &gt; バラ目 &gt; ニレ科</p>	 <p><b>ケヤキ</b> <i>Zelkova serrata</i> 種子植物 &gt; バラ目 &gt; ニレ科</p>	 <p><b>ケヤキ</b> <i>Zelkova serrata</i> 種子植物 &gt; バラ目 &gt; ニレ科</p>	 <p><b>エノキ</b> <i>Celtis sinensis</i> 種子植物 &gt; バラ目 &gt; アサ科</p>
 <p><b>コナラ</b> <i>Quercus serrata</i> 種子植物 &gt; ブナ目 &gt; ブナ科</p>	 <p><b>コナラ</b> <i>Quercus serrata</i> 種子植物 &gt; ブナ目 &gt; ブナ科</p>	 <p><b>クヌギ</b> <i>Quercus acutissima</i> 種子植物 &gt; ブナ目 &gt; ブナ科</p>	 <p><b>スギ</b> <i>Cryptomeria japonica</i> 種子植物 &gt; マツ目 &gt; ヒノキ科</p>	 <p><b>ネズミモチ</b> <i>Ligustrum japonicum</i> 種子植物 &gt; シソ目 &gt; モクセイ科</p>



 <p><b>ヤブツバキ</b> <i>Camellia japonica</i> 種子植物 &gt; ツツジ目 &gt; ツバキ科</p>	 <p><b>チャノキ</b> <i>Camellia sinensis</i> 種子植物 &gt; ツツジ目 &gt; ツバキ科</p>	 <p><b>ムクノキ</b> <i>Alphonse aspera</i> 種子植物 &gt; バラ目 &gt; アサ科</p>	 <p><b>ウツギ</b> <i>Deutzia crenata</i> 種子植物 &gt; ミズキ目 &gt; アジサイ科</p>	 <p><b>オギ</b> <i>Miscanthus sacchariflorus</i> 種子植物 &gt; イネ目 &gt; イネ科</p>
 <p><b>オギ</b> <i>Miscanthus sacchariflorus</i> 種子植物 &gt; イネ目 &gt; イネ科</p>	 <p><b>オギ</b> <i>Miscanthus sacchariflorus</i> 種子植物 &gt; イネ目 &gt; イネ科</p>	 <p><b>オギ</b> <i>Miscanthus sacchariflorus</i> 種子植物 &gt; イネ目 &gt; イネ科</p>	 <p><b>オギ</b> <i>Miscanthus sacchariflorus</i> 種子植物 &gt; イネ目 &gt; イネ科</p>	 <p><b>オギ</b> <i>Miscanthus sacchariflorus</i> 種子植物 &gt; イネ目 &gt; イネ科</p>
 <p><b>オギ</b> <i>Miscanthus sacchariflorus</i> 種子植物 &gt; イネ目 &gt; イネ科</p>	 <p><b>オギ</b> <i>Miscanthus sacchariflorus</i> 種子植物 &gt; イネ目 &gt; イネ科</p>	 <p><b>オギ</b> <i>Miscanthus sacchariflorus</i> 種子植物 &gt; イネ目 &gt; イネ科</p>	 <p><b>セイヨウタンポポ</b> <i>Taraxacum officinale</i> 種子植物 &gt; キク目 &gt; キク科</p>	 <p><b>セイヨウタンポポ</b> <i>Taraxacum officinale</i> 種子植物 &gt; キク目 &gt; キク科</p>
 <p><b>セイヨウタンポポ</b> <i>Taraxacum officinale</i> 種子植物 &gt; キク目 &gt; キク科</p>	 <p><b>セイヨウタンポポ</b> <i>Taraxacum officinale</i> 種子植物 &gt; キク目 &gt; キク科</p>	 <p><b>セイヨウタンポポ</b> <i>Taraxacum officinale</i> 種子植物 &gt; キク目 &gt; キク科</p>	 <p><b>アイノコセンダングサ</b> <i>Bidens pilosa</i> var. <i>intermedia</i> 種子植物 &gt; キク目 &gt; キク科</p>	 <p><b>アイノコセンダングサ</b> <i>Bidens pilosa</i> var. <i>intermedia</i> 種子植物 &gt; キク目 &gt; キク科</p>
 <p><b>アイノコセンダングサ</b> <i>Bidens pilosa</i> var. <i>intermedia</i> 種子植物 &gt; キク目 &gt; キク科</p>	 <p><b>オニノゲシ</b> <i>Sonchus asper</i> 種子植物 &gt; キク目 &gt; キク科</p>	 <p><b>ノゲシ</b> <i>Sonchus oleraceus</i> 種子植物 &gt; キク目 &gt; キク科</p>	 <p><b>ハルジオン</b> <i>Erigeron philadelphicus</i> 種子植物 &gt; キク目 &gt; キク科</p>	 <p><b>ハルジオン</b> <i>Erigeron philadelphicus</i> 種子植物 &gt; キク目 &gt; キク科</p>



 <p><b>ハルジオン</b> <i>Erigeron philadelphicus</i> 種子植物 &gt; キク目 &gt; キク科</p>	 <p><b>ハルジオン</b> <i>Erigeron philadelphicus</i> 種子植物 &gt; キク目 &gt; キク科</p>	 <p><b>カラスウリ</b> <i>Trichosanthes cucumeroides</i> 種子植物 &gt; ウリ目 &gt; ウリ科</p>	 <p><b>カラスウリ</b> <i>Trichosanthes cucumeroides</i> 種子植物 &gt; ウリ目 &gt; ウリ科</p>	 <p><b>カラスウリ</b> <i>Trichosanthes cucumeroides</i> 種子植物 &gt; ウリ目 &gt; ウリ科</p>
 <p><b>カラスウリ</b> <i>Trichosanthes cucumeroides</i> 種子植物 &gt; ウリ目 &gt; ウリ科</p>	 <p><b>カラスウリ</b> <i>Trichosanthes cucumeroides</i> 種子植物 &gt; ウリ目 &gt; ウリ科</p>	 <p><b>ジュズダマ</b> <i>Coix lacryma-jobi</i> 種子植物 &gt; イネ目 &gt; イネ科</p>	 <p><b>ジュズダマ</b> <i>Coix lacryma-jobi</i> 種子植物 &gt; イネ目 &gt; イネ科</p>	 <p><b>ジュズダマ</b> <i>Coix lacryma-jobi</i> 種子植物 &gt; イネ目 &gt; イネ科</p>
 <p><b>ジュズダマ</b> <i>Coix lacryma-jobi</i> 種子植物 &gt; イネ目 &gt; イネ科</p>	 <p><b>ジュズダマ</b> <i>Coix lacryma-jobi</i> 種子植物 &gt; イネ目 &gt; イネ科</p>	 <p><b>ガガイモ</b> <i>Metaplexis japonica</i> 種子植物 &gt; リンドウ目 &gt; キョウチクトウ科</p>	 <p><b>ガガイモ</b> <i>Metaplexis japonica</i> 種子植物 &gt; リンドウ目 &gt; キョウチクトウ科</p>	 <p><b>ガガイモ</b> <i>Metaplexis japonica</i> 種子植物 &gt; リンドウ目 &gt; キョウチクトウ科</p>
 <p><b>ガガイモ</b> <i>Metaplexis japonica</i> 種子植物 &gt; リンドウ目 &gt; キョウチクトウ科</p>	 <p><b>イヌタデ</b> <i>Persicaria longisetta</i> 種子植物 &gt; ナデシコ目 &gt; タデ科</p>	 <p><b>イヌタデ</b> <i>Persicaria longisetta</i> 種子植物 &gt; ナデシコ目 &gt; タデ科</p>	 <p><b>イヌタデ</b> <i>Persicaria longisetta</i> 種子植物 &gt; ナデシコ目 &gt; タデ科</p>	 <p><b>ホトケノザ</b> <i>Lamium amplexicaule</i> 種子植物 &gt; シソ目 &gt; シソ科</p>
 <p><b>ホトケノザ</b> <i>Lamium amplexicaule</i> 種子植物 &gt; シソ目 &gt; シソ科</p>	 <p><b>エノコログサ</b> <i>Setaria viridis</i> 種子植物 &gt; イネ目 &gt; イネ科</p>	 <p><b>チカラシバ</b> <i>Pennisetum alopecuroides</i> 種子植物 &gt; イネ目 &gt; イネ科</p>	 <p><b>チカラシバ</b> <i>Pennisetum alopecuroides</i> 種子植物 &gt; イネ目 &gt; イネ科</p>	 <p><b>ギシギシ</b> <i>Rumex japonicus</i> 種子植物 &gt; ナデシコ目 &gt; タデ科</p>





**ギシギシ**

*Rumex japonicus*  
種子植物 > ナデシコ目 > タデ科

Photo by 豊山はっけん



**オオイヌノフグリ**

*Veronica persica*  
種子植物 > シソ目 > オオバコ科

Photo by 豊山はっけん



**オオバコ**

*Plantago asiatica*  
種子植物 > シソ目 > オオバコ科

Photo by 豊山はっけん



**オオバコ**

*Plantago asiatica*  
種子植物 > シソ目 > オオバコ科

Photo by 豊山はっけん



**シロツメクサ**

*Trifolium repens*  
種子植物 > マメ目 > マメ科

Photo by 豊山はっけん



**ヨモギ**

*Artemisia indica var. maximowiczii*  
種子植物 > キク目 > キク科

Photo by 豊山はっけん



**ヨモギ**

*Artemisia indica var. maximowiczii*  
種子植物 > キク目 > キク科

Photo by 豊山はっけん



**カントウヨメナ**

*Aster yomena var. dentatus*  
種子植物 > キク目 > キク科

Photo by 豊山はっけん



**キツネノマゴ**

*Justicia procumbens var. procumbens*  
種子植物 > シソ目 > キツネノマゴ科

Photo by 豊山はっけん



**アキカラマツ**

*Thalictrum minus var. hypoleucum*  
種子植物 > キンポウゲ目 > キンポウゲ科

Photo by 豊山はっけん



**キツタ**

*Hedera rhombica*  
種子植物 > セリ目 > ウコギ科

Photo by 豊山はっけん



**種名？**

学名？  
分類？

Photo by 豊山はっけん



**種名？**

学名？  
分類？

Photo by 豊山はっけん



**種名？**

学名？  
分類？

Photo by 豊山はっけん



**種名？**

学名？  
分類？

Photo by 豊山はっけん



**種名？**

学名？  
分類？

Photo by 豊山はっけん



**種名？**

学名？  
分類？

Photo by 豊山はっけん



**種名？**

学名？  
分類？

Photo by 豊山はっけん



**種名？**

学名？  
分類？

Photo by 豊山はっけん



**種名？**

学名？  
分類？

Photo by 豊山はっけん



**種名？**

学名？  
分類？

Photo by 豊山はっけん



**種名？**

学名？  
分類？

Photo by 豊山はっけん



**種名？**

学名？  
分類？

Photo by 豊山はっけん



























**種名？**

学名？  
分類？

Photo by 豊山はっけん
























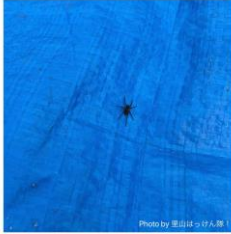




<h1>昆虫・クモ</h1>	 <p><b>オオカマキリ</b> <i>Tanodera sinensis</i> 昆虫・クモ&gt;カマキリ目&gt;カマキリ科</p>	 <p><b>オオカマキリ</b> <i>Tanodera sinensis</i> 昆虫・クモ&gt;カマキリ目&gt;カマキリ科</p>	 <p><b>コバネイナゴ</b> <i>Oxya yezoensis</i> 昆虫・クモ&gt;バッタ目&gt;バッタ科</p>	 <p><b>コバネイナゴ</b> <i>Oxya yezoensis</i> 昆虫・クモ&gt;バッタ目&gt;バッタ科</p>
 <p><b>コバネイナゴ</b> <i>Oxya yezoensis</i> 昆虫・クモ&gt;バッタ目&gt;バッタ科</p>	 <p><b>コバネイナゴ</b> <i>Oxya yezoensis</i> 昆虫・クモ&gt;バッタ目&gt;バッタ科</p>	 <p><b>コバネイナゴ</b> <i>Oxya yezoensis</i> 昆虫・クモ&gt;バッタ目&gt;バッタ科</p>	 <p><b>コバネイナゴ</b> <i>Oxya yezoensis</i> 昆虫・クモ&gt;バッタ目&gt;バッタ科</p>	 <p><b>コバネイナゴ</b> <i>Oxya yezoensis</i> 昆虫・クモ&gt;バッタ目&gt;バッタ科</p>
 <p><b>コバネイナゴ</b> <i>Oxya yezoensis</i> 昆虫・クモ&gt;バッタ目&gt;バッタ科</p>	 <p><b>コバネイナゴ</b> <i>Oxya yezoensis</i> 昆虫・クモ&gt;バッタ目&gt;バッタ科</p>	 <p><b>コバネイナゴ</b> <i>Oxya yezoensis</i> 昆虫・クモ&gt;バッタ目&gt;バッタ科</p>	 <p><b>ツチイナゴ (※1)</b> <i>Patanga japonica</i> 昆虫・クモ&gt;バッタ目&gt;バッタ科</p>	 <p><b>ツチイナゴ (※2)</b> <i>Patanga japonica</i> 昆虫・クモ&gt;バッタ目&gt;バッタ科</p>
 <p><b>ツチイナゴ</b> <i>Patanga japonica</i> 昆虫・クモ&gt;バッタ目&gt;バッタ科</p>	 <p><b>ツチイナゴ</b> <i>Patanga japonica</i> 昆虫・クモ&gt;バッタ目&gt;バッタ科</p>	 <p><b>ツチイナゴ</b> <i>Patanga japonica</i> 昆虫・クモ&gt;バッタ目&gt;バッタ科</p>	 <p><b>ヒメヒシバッタ</b> <i>Tetrix minor</i> 昆虫・クモ&gt;バッタ目&gt;ヒシバッタ科</p>	 <p><b>ハラヒシバッタ</b> <i>Tetrix japonica</i> 昆虫・クモ&gt;バッタ目&gt;ヒシバッタ科</p>
 <p><b>ハラヒシバッタ</b> <i>Tetrix japonica</i> 昆虫・クモ&gt;バッタ目&gt;ヒシバッタ科</p>	 <p><b>オンバッタ</b> <i>Atractomorpha lata</i> 昆虫・クモ&gt;バッタ目&gt;オンバッタ科</p>	 <p><b>ナナホシテントウ</b> <i>Coccinella septempunctata</i> 昆虫・クモ&gt;コウチュウ目&gt;テントウムシ科</p>	 <p><b>ナナホシテントウ</b> <i>Coccinella septempunctata</i> 昆虫・クモ&gt;コウチュウ目&gt;テントウムシ科</p>	 <p><b>ナナホシテントウ</b> <i>Coccinella septempunctata</i> 昆虫・クモ&gt;コウチュウ目&gt;テントウムシ科</p>





















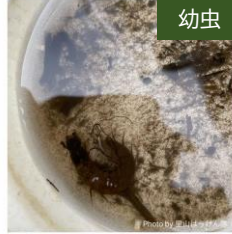



※1 上に重なっているのはコバネイナゴ











※2 左上の1頭はコバネイナゴ



 <p><b>ナナホシtentウ</b> <i>Coccinella septempunctata</i> 昆虫・クモ&gt;コウチュウ目&gt;テントウムシ科</p>	 <p><b>幼虫</b> <b>ナナホシtentウ</b> <i>Coccinella septempunctata</i> 昆虫・クモ&gt;コウチュウ目&gt;テントウムシ科</p>	 <p><b>ナミtentウ</b> <i>Harmotia asyrtidis</i> 昆虫・クモ&gt;コウチュウ目&gt;テントウムシ科</p>	 <p><b>卵鞘</b> <b>ハラビロカマクリ</b> <i>Hierodula patellifera</i> 昆虫・クモ&gt;カマクリ目&gt;カマクリ科</p>	 <p><b>卵鞘</b> <b>ハラビロカマクリ</b> <i>Hierodula patellifera</i> 昆虫・クモ&gt;カマクリ目&gt;カマクリ科</p>
 <p><b>卵鞘</b> <b>オオカマクリ</b> <i>Tenodera sinensis</i> 昆虫・クモ&gt;カマクリ目&gt;カマクリ科</p>	 <p><b>卵鞘</b> <b>オオカマクリ</b> <i>Tenodera sinensis</i> 昆虫・クモ&gt;カマクリ目&gt;カマクリ科</p>	 <p><b>卵鞘</b> <b>オオカマクリ</b> <i>Tenodera sinensis</i> 昆虫・クモ&gt;カマクリ目&gt;カマクリ科</p>	 <p><b>卵鞘</b> <b>オオカマクリ</b> <i>Tenodera sinensis</i> 昆虫・クモ&gt;カマクリ目&gt;カマクリ科</p>	 <p><b>卵鞘</b> <b>オオカマクリ</b> <i>Tenodera sinensis</i> 昆虫・クモ&gt;カマクリ目&gt;カマクリ科</p>
 <p><b>アキアカネ</b> <i>Sympetrum frequens</i> 昆虫・クモ&gt;トンボ目&gt;トンボ科</p>	 <p><b>アキアカネ</b> <i>Sympetrum frequens</i> 昆虫・クモ&gt;トンボ目&gt;トンボ科</p>	 <p><b>ヤマトゴブリ</b> <i>Periplaneta japonica</i> 昆虫・クモ&gt;ゴブリ目&gt;ゴブリ科</p>	 <p><b>種名?</b> 学名? 分類?</p>	 <p><b>種名?</b> 学名? 分類?</p>
 <p><b>種名?</b> 学名? 分類?</p>	 <p><b>種名?</b> 学名? 分類?</p>	 <p><b>種名?</b> 学名? 分類?</p>	 <p><b>種名?</b> 学名? 分類?</p>	 <p><b>種名?</b> 学名? 分類?</p>
 <p><b>種名?</b> 学名? 分類?</p>	 <p><b>種名?</b> 学名? 分類?</p>	<h1>両生類</h1>		 <p><b>ニホンアマガエル</b> <i>Dryophytes japonicus</i> 両生類&gt;無尾目&gt;アマガエル科</p>
				 <p><b>ニホンアマガエル</b> <i>Dryophytes japonicus</i> 両生類&gt;無尾目&gt;アマガエル科</p>

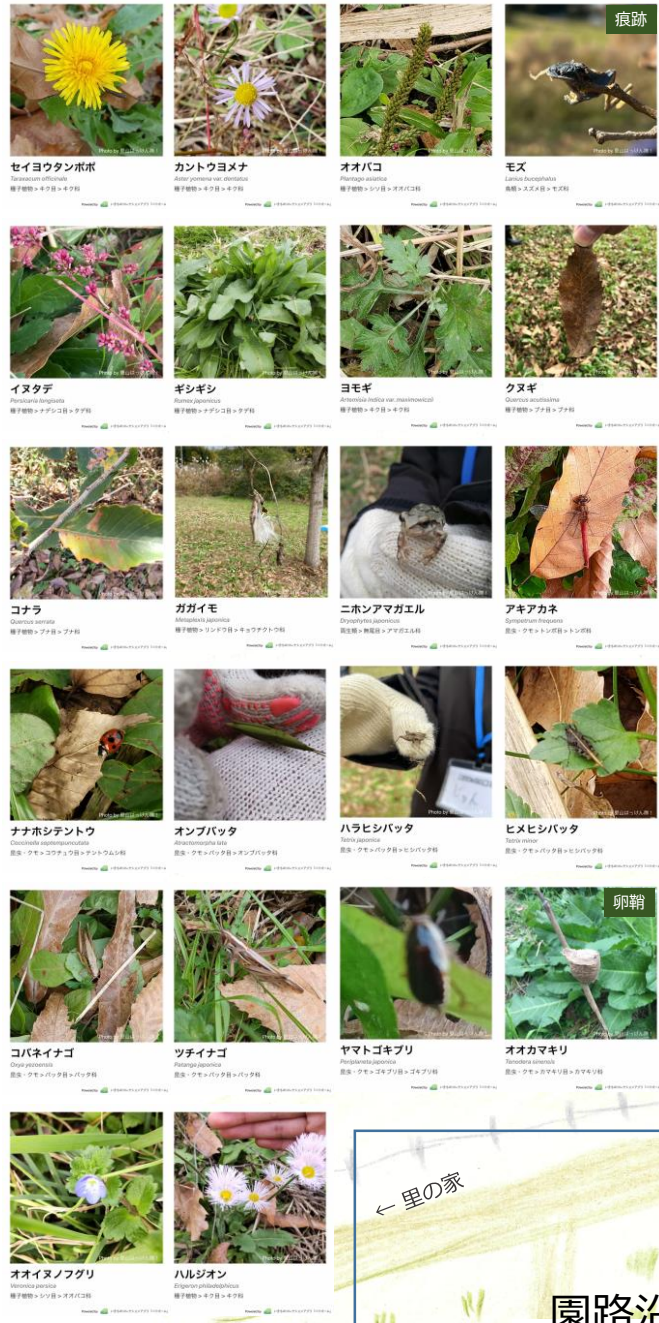


 <p><b>ニホンアマガエル</b> <i>Dryophytes japonicus</i> 両生類 &gt; 無尾目 &gt; アマガエル科</p>	 <p><b>ニホンアマガエル</b> <i>Dryophytes japonicus</i> 両生類 &gt; 無尾目 &gt; アマガエル科</p>	 <p><b>ニホンアマガエル</b> <i>Dryophytes japonicus</i> 両生類 &gt; 無尾目 &gt; アマガエル科</p>	 <p><b>ニホンアマガエル</b> <i>Dryophytes japonicus</i> 両生類 &gt; 無尾目 &gt; アマガエル科</p>	 <p><b>ニホンアマガエル</b> <i>Dryophytes japonicus</i> 両生類 &gt; 無尾目 &gt; アマガエル科</p>
 <p><b>ニホンアマガエル</b> <i>Dryophytes japonicus</i> 両生類 &gt; 無尾目 &gt; アマガエル科</p>	<h2>水生生物</h2>	 <p><b>アメリカザリガニ</b> <i>Procambarus clarkii</i> 甲殻類 &gt; 十脚目 &gt; アメリカザリガニ科</p>	 <p><b>アメリカザリガニ</b> <i>Procambarus clarkii</i> 甲殻類 &gt; 十脚目 &gt; アメリカザリガニ科</p>	 <p><b>アメリカザリガニ</b> <i>Procambarus clarkii</i> 甲殻類 &gt; 十脚目 &gt; アメリカザリガニ科</p>
 <p><b>アメリカザリガニ</b> <i>Procambarus clarkii</i> 甲殻類 &gt; 十脚目 &gt; アメリカザリガニ科</p>	 <p><b>アメリカザリガニ</b> <i>Procambarus clarkii</i> 甲殻類 &gt; 十脚目 &gt; アメリカザリガニ科</p>	 <p><b>アメリカザリガニ</b> <i>Procambarus clarkii</i> 甲殻類 &gt; 十脚目 &gt; アメリカザリガニ科</p>	 <p><b>ヒメガムシ</b> <i>Sternolophus rufipes</i> 昆虫・クモ &gt; コウチュウ目 &gt; ガムシ科</p>	 <p><b>ヒメガムシ</b> <i>Sternolophus rufipes</i> 昆虫・クモ &gt; コウチュウ目 &gt; ガムシ科</p>
 <p><b>ヒメガムシ</b> <i>Sternolophus rufipes</i> 昆虫・クモ &gt; コウチュウ目 &gt; ガムシ科</p>	 <p><b>ヒメガムシ</b> <i>Sternolophus rufipes</i> 昆虫・クモ &gt; コウチュウ目 &gt; ガムシ科</p>	 <p><b>ヒメガムシ</b> <i>Sternolophus rufipes</i> 昆虫・クモ &gt; コウチュウ目 &gt; ガムシ科</p>	 <p><b>ヤマトクロスジヘビトンボ</b> <i>Parachauliodes japonicus</i> 昆虫・クモ &gt; ヘビトンボ目 &gt; ヘビトンボ科</p>	 <p><b>ヤマトクロスジヘビトンボ</b> <i>Parachauliodes japonicus</i> 昆虫・クモ &gt; ヘビトンボ目 &gt; ヘビトンボ科</p>
 <p><b>ヤマトクロスジヘビトンボ</b> <i>Parachauliodes japonicus</i> 昆虫・クモ &gt; ヘビトンボ目 &gt; ヘビトンボ科</p>	 <p><b>ヤマトクロスジヘビトンボ</b> <i>Parachauliodes japonicus</i> 昆虫・クモ &gt; ヘビトンボ目 &gt; ヘビトンボ科</p>	 <p><b>ガガンボ科</b> <i>Tipulidae</i> 昆虫・クモ &gt; ハエ目</p>	 <p><b>ガガンボ科</b> <i>Tipulidae</i> 昆虫・クモ &gt; ハエ目</p>	 <p><b>ガガンボ科</b> <i>Tipulidae</i> 昆虫・クモ &gt; ハエ目</p>

 <p>Photo by 星山ほっけん様！</p> <p><b>サワガニ</b> <i>Geothelphusa dehaani</i> 甲殻類 &gt; 十脚目 &gt; サワガニ科</p> <p>Pensoft 1 1</p>	 <p>Photo by 星山ほっけん様！</p> <p><b>サワガニ</b> <i>Geothelphusa dehaani</i> 甲殻類 &gt; 十脚目 &gt; サワガニ科</p> <p>Pensoft 1 1</p>	 <p>Photo by 星山ほっけん様！</p> <p><b>サワガニ</b> <i>Geothelphusa dehaani</i> 甲殻類 &gt; 十脚目 &gt; サワガニ科</p> <p>Pensoft 1 1</p>	 <p>Photo by 星山ほっけん様！</p> <p><b>カワニナ</b> <i>Semisulcospira libertina</i> 軟体動物 &gt; 吸殻目 &gt; カワニナ科</p> <p>Pensoft 1 1</p>	 <p>Photo by 星山ほっけん様！</p> <p><b>カワニナ</b> <i>Semisulcospira libertina</i> 軟体動物 &gt; 吸殻目 &gt; カワニナ科</p> <p>Pensoft 1 1</p>
 <p>Photo by 星山ほっけん様！</p> <p><b>カワニナ</b> <i>Semisulcospira libertina</i> 軟体動物 &gt; 吸殻目 &gt; カワニナ科</p> <p>Pensoft 1 1</p>	 <p>Photo by 星山ほっけん様！</p> <p><b>オオタニシ</b> <i>Cipangopaludina japonica</i> 軟体動物 &gt; 原始紐舌目 &gt; タニシ科</p> <p>Pensoft 1 1</p>	<p><b>鳥類</b></p>	 <p>Photo by 星山ほっけん様！</p> <p><b>モズ</b> <i>Lanius bucephalus</i> 鳥類 &gt; スズメ目 &gt; モズ科</p> <p>Pensoft 1 1</p>	 <p>Photo by 星山ほっけん様！</p> <p><b>トビ</b> <i>Milvus migrans subsp. lineatus</i> 鳥類 &gt; タカ目 &gt; タカ科</p> <p>Pensoft 1 1</p>
 <p>Photo by 星山ほっけん様！</p> <p><b>トビ</b> <i>Milvus migrans subsp. lineatus</i> 鳥類 &gt; タカ目 &gt; タカ科</p> <p>Pensoft 1 1</p>				



草地



まとめ  
その3

生きものマップ

里山はっけん隊！の主な活動場所である「畑の村湿地」とその周辺で見つけた主な生きものです。保全活動体験として、外来種の抜き取り、落ち葉かき、こも巻きにも挑戦してみました。（令和4年12月3日）

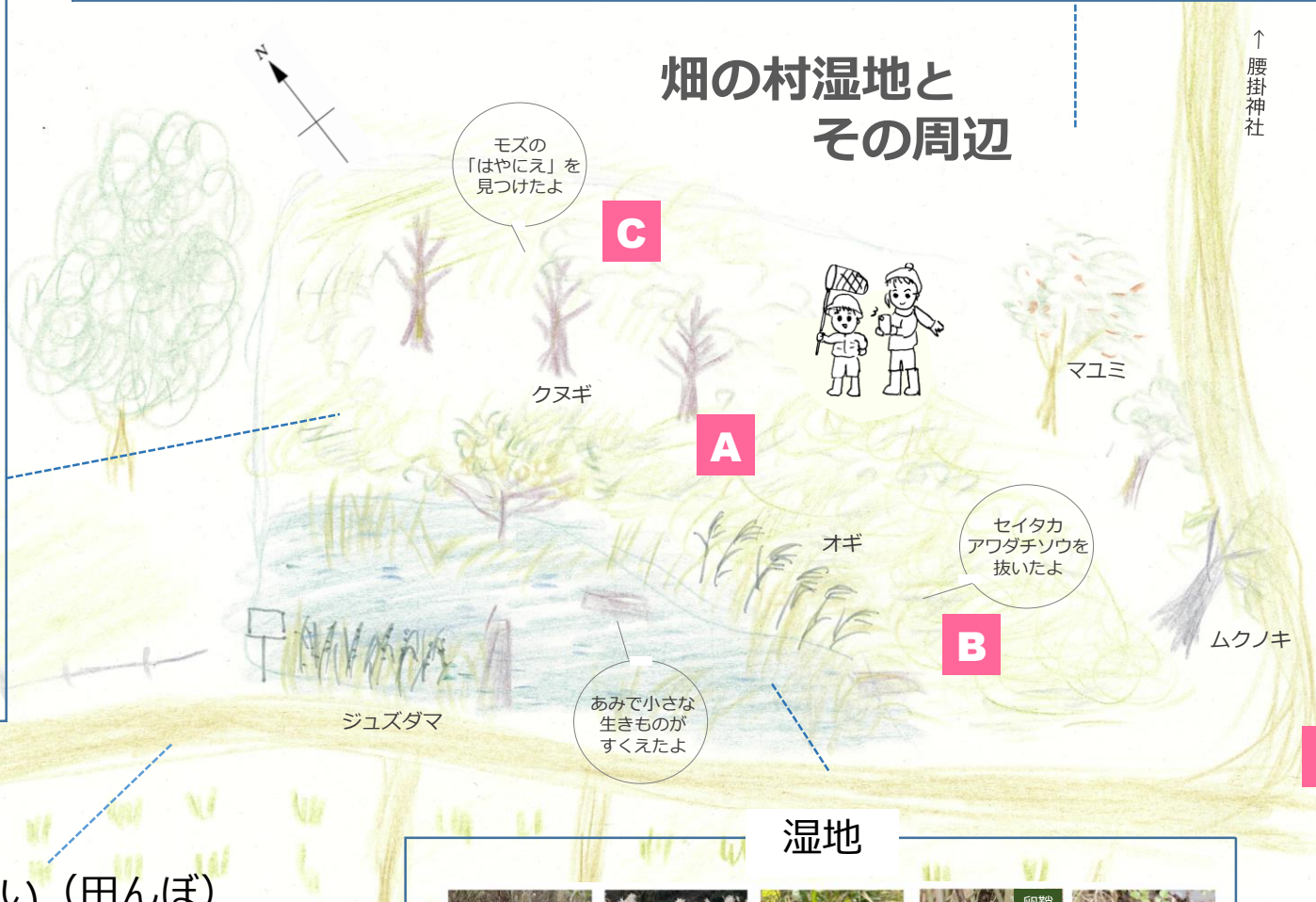


斜面

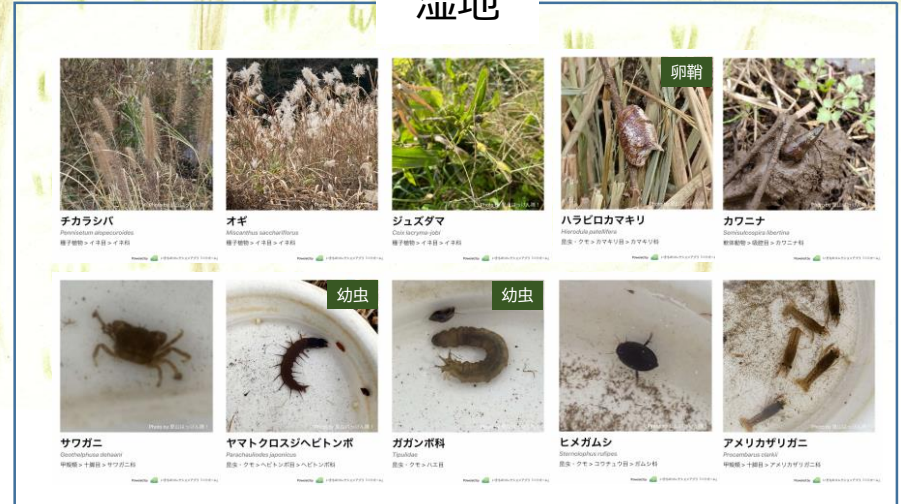
空



保全活動体験



湿地





里山はっけん隊！「まとめノート」令和4年度 冬  
編集：茅ヶ崎市環境部環境政策課  
協力：柳谷の自然に学ぶ会  
令和5年2月作成